

働かざる者食うべからず (資産形成コラム)

怠け者を戒める、最近ではあまり聞かなくなったような言葉ですが、私世代より上の方は小さい頃、一度と無く聞かされた言葉ではないでしょうか？ そう言う意味で、このコラムを読んでいる人の中にはこの言葉を知らない方はいないでしょうし、言ったり言われたりしてきたことでしょう。令和の時代に考えたら中々に厳しい言葉だと感じますが、昭和の時代にはまあまあ当たり前、むしろ教育の一環かのように言われていたように思います。

ところで、この「働かざる者食うべからず」って、誰が言ったんですか？ 昔の偉い人か、宗教の教えか、はたまた近代日本の礎を築いたカリスマ経営者なのか？ 実はこの言葉の源流には1つの説があるそうです。紀元前まで遡ります。キリスト教の経典『新約聖書』の言葉に「働けるものは真面目に働く、これは良い行いであり、皆に勧めることだ」と真面目な労働を推奨する意味で書かれていたそうです。ところが、時代は進み20世紀のロシア革命時の革命家レーニンが、不労所得を得る資産家を非難する際に言葉のニュアンスを変えて訴えたそうです。皆さんも中学校の歴史の教科書や高校の世界史を思い出しませんか？ プロレタリアートやらブルジ

ヨアジーやらボリシェヴィキ、メンシェヴィキ……。そして、その考え方が第 2 次世界大戦後のシベリア抑留で日本兵に強制労働をさせる際にスローガンとして使われたそうです。ちなみに、ロシア（旧ソ連）は今も昔も隣国で文化的、言語的な影響は結構あるんですよ。例えば、イクラはロシア語で卵を意味しますし、ノルマなんて言葉も元々はロシア語なんですよ。私が社会人になった 20 年程前には既に今のように欧米からの情報や影響が大きく、東欧やロシアなどの情報や影響は少なくなっていたように感じますが、それよりもう少し前の学生時代、所謂昭和の時代にはロシア文学が書店に並び、ロシアのクラシックや民謡なんかも自然と身の回りにあったように思います。参考までにロシア東欧と言えば、ドナドナやモルダウ、チャイコフスキー、ドストエフスキーやトルストイ、大きなカブの話やユーリ・ガガーリンの「地球は青かった」など、頭に浮かんでくるものはどれも懐かしいものばかりです。

そう、いつも通り話が脱線してしまいましたが、標題の言葉はシベリアから帰還した当時の日本人がスローガンのように持ち帰り、戦後日本の復興、特に高度成長期の合言葉となって広く流通したと、一説には言われています。

最近ではこのような表現は使われなくなったように感じますが、やはり日本人の思考にはまだ脈々と残っているように思います。極端な表現かもしれませんが、働いて稼いだお金は善、そうじゃないお金は悪、といった感覚があると思います。「誰のおかげで飯が食えてると思ってるんだ。」的な最近ではあまり聞かない表現も、まだ我々の意識下にはあるように思います。少し趣は違いますが、先日の新聞にも無償労働の実態のような記事があり、専業主婦やヤングケアラーが取り上げられていました。資産形成コラムとしての結論の前置きがついつい長くなってしまいましたが、我々は長らく『お金』と『労働』を結び付け、極度に囚われてしまっているように感じます。『21世紀の資本論』の著者トマ・ピケティが結論付けたように、過去200年間の資本収益率・ r を経済収益率・ g の関係を $r > g$ の不等式で表しました。つまり、資産を持つものは常に高い収益を得ていることとなります。

もはや戦後ではありませんし、もはやデフレでもありません。この数ヶ月で急激に円安は進み、物価上昇は生活必需品ほぼ全てにおいて実感するようになりました。働くことは尊く決して否定することではありませんが、労働収入だけで今実際に目の前で起こっている問題を解決出来ます

か？20年以上前にベストセラーになったロバート・キヨサキ氏の「金持ち父さん、貧乏父さん」に出てくる資産と負債についての考え方を今一度再認識して、皆さんの財布にお金を入れてくれる資産を形成することで、少なからず欧米諸国並みにはまだ進行していない今の物価上昇には対応出来ると思います。そしていずれ来るかもしれない、今の欧米並みの物価上昇局面でも慌てず日々穏やかに過ごしていかれることを切に望みます。

そう言う意味でも話を始めに戻して、標題の働きもせず何年も眠っている怠け者のお金に対しては、きちんと働いてもらいましょう。以前のコラムにも書きましたが、まるで手塩にかけて育てたわが子のように一生懸命働いて稼いだお金には、適切な場所で適切な期間働かせれば、真面目に24時間休むことなく少しの食料(手数料)で、私たちに助けて(食べさせて)くれます。自分だけが働くのではなく、資産にも働いてもらう。3つ子の魂100までとは言いますが、日本人に染みついた時代に合わない考え方を少しずつ改めて、山あり谷ありの人生を共に楽しみましょう。

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟